

藝文やまなし

題字 金井 昭堂（芸術文化協会参与）



総合舞台「祈笛」 写真提供 (株)サンニチ印刷

平成24年3月号

Vol.26

CONTENTS

- ◆会長随想…………… 2
- ◆国文祭へ向け力を集結
第 11 回やまなし県民文化祭…………… 3
- ◆山梨県文化賞 受賞者の声…………… 4 ～ 5
- ◆インタビュー「山梨芸術劇場」…………… 6
- ◆第 28 回国民文化祭・
やまなし 2013 の紹介…………… 7
- ◆総会・研修会のお知らせ…………… 8
- ◆いんふおめーしょん…………… 8



「やまなし国文祭 最高の舞台を」

山梨県芸術文化協会会長 野口 英一



12 祀ほどの御神木を竹と色紙で飾った「オオヤナギ」、ワラで男性のシンボルを形作った「オカリ」―。無病息災、子孫繁栄を願って公民館から道祖神場まで練り歩き、「御幣の舞」を披露した山梨市牧丘町塩平地区の住民。昨年の塩山「藤木の太鼓乗り」に次いで、今年 1 月 14 日の小正月、400 年以上続く塩平の道祖神祭りを見てきました。同じ山梨県にあって、さまざまな地域に足を運んでみると、各地域が持つ個性に驚かされます。今回の塩平訪問を通じ、豊かな自然風土の下、個性ある伝統文化が脈々と継承され、「山梨らしさ」が形成されていることをあらためて実感しました。

第 28 回国民文化祭「富士の国やまなし国文祭」の開催まで 1 年を切りました。伝統行事や祭り、芸術など、県民が山梨独特の文化を見つめ直し、新たな価値を創造するとともに、その魅力を全国に発信する絶好の機会です。県都の玄関口である JR 甲府駅には開幕までの残りの日数などを知らせる情報コーナーが開設され、国文祭ムードがいよいよ盛り上がってきました。

開幕 1 年前イベントとも銘打ち、1 月 15 日に甲府・コラニー文化ホールで上演された「やまなし県民文化祭」の総合舞台「祈笛」は、山梨県芸術文化協会の演劇、音楽、合唱、朗読、洋舞、日舞、民謡民舞、邦楽、太鼓、吟剣詩舞の各部門の芸術家や学生ら総勢 200 人以上が出演し、観客を魅了しました。その裏で、ジャンルの異なる表現者が同じ舞台で融合し、一つの物語を創り上げるまでの道のりは、11 回目となる今回も平坦なものではありませんでした。来冬には、県芸術文化協会による総合舞台がやまなし国文祭の開幕を飾ります。本番まで限られた期間ですが、各加盟団体が互いを認め合うことから再出発し、これまでの活動で培った知恵や技術を結集し、県内外から集う観覧者の方々に驚きや感動、共感を抱いてもらえるよう最高の舞台を創り上げましょう。

やまなし国文祭は、全国初の通年開催が特徴です。冬は道祖神祭り、春は戦国文化、夏は富士山、秋は実りなど、各季節の特徴をテーマに取り上げます。これまで各地で開かれた国文祭は秋の 1 ～ 2 週間の開催が通例でした。国文祭は「国体の文化版」とも言われますが、決して認知度が高いとは言えず、過去の開催地でも住民への周知が課題でした。茨城、静岡、岡山に続いて昨年 11 月に視察した京都の国文祭では、地域が誇るお茶席や迎え花によるおもてなしの心や、日本文化の粋に存分に触れることができた半面、会場を後にして街に出ると、多彩なイベントが集中的に組まれていながら、府民の間ではまだまだ認知度が高まっていない現状も感じました。

県や各市町村の実行委員会、各文化団体は本番に向け準備を本格化させていますが、通年開催の国文祭を成功させるためには、県民への周知と、県民総参加による機運の盛り上げが欠かせません。各地で街頭キャンペーンなどが展開され、次第に県民の間にも浸透してきているものの、日ごろ文化芸術活動になじみが薄い人たちへの周知はさらに必要となるでしょう。

国文祭全体を監修する総合プロデューサーは、韮崎市出身の実業家小林一三が創設した宝塚歌劇団が担当します。音楽や舞台の出演者は約 3 万人、文芸や美術など出展総数は 10 万点と見込まれます。宝塚による演出や、全国各地の文化芸術活動に触れることが、山梨の文化振興にとっても大きな刺激となることでしょう。国文祭を通じた県内の文化活動の盛り上がりを一過性とせず、文化活動の底辺拡大につなげるためにも、県芸術文化協会が担う役割は大きく、これからの準備がますます重要になってきます。

やまなし国文祭のテーマは「文化の風とあそぶ～みつめる・こえる・つなげる」です。多くの県民にとって、来年が「文化の風とあそぶ」1 年となることを願っています。



国民文化祭に向け力を結集 第11回やまなし県民文化祭

●●● 総合舞台 “祈笛” ～なお行く末も久しけれ～

総合舞台は、国民文化祭開幕1年前イベントとして1月15日に開催され、舞台系の各部門がジャンルを超えて協力し合い、すばらしい舞台を作り上げることができました。

今回の脚本は、北杜市に伝承する民話をヒントに創作されたものです。主人公の「千吉」と「乙女」を縦糸に、名主の娘「おきみ」と「おさと」を横糸で絡ませ、自然界の生き神さま「釈迦堂美人」（笛吹市釈迦堂遺跡から発掘された土偶の愛称）が人間の業の深さを論じ、愛の尊さを謳い上げています。

東日本大震災を経験する中で、自然に対する「畏怖」の念を私たちに深く抱かせ、「家族の愛」や「人との絆」の大切さを改めて考えさせてくれる作品となりました。



●●● やまなしトップアーティスト展（総合展示）・合同展示



「総合展示」は「やまなしトップアーティスト展」をサブタイトルに10月7日（金）から11日（火）コラニー文化ホール会議室及び展示ロビーにおいて開催されました。県内の指導的立場にある方々の作品を一堂に会しての展覧会です。今回は2階コンコースにも作品を展示し、たくさんの来場者に作品を見ていただきました。また、土曜日と日曜日の午後には邦楽部門による箏の演奏、祝日の月曜日には茶道部門による呈茶が行われ、訪れた方々に優れた芸術文化の鑑賞とあわせて心地よい時間を提供することができました。



さらに、1月12日（木）から15日（日）まで同会場にて実施された「合同展示」でも展示部会が中心となって運営を行いました。県内公募による優秀作品や姉妹州県の写真など、県内外の優れた作品が集まりました。最終日は、大ホールで公演された総合舞台のお客様がたくさん見に来てくれました。

●●● 部門別フェスティバル

芸文協の各部門が主体となって行われる「部門別フェスティバル」は9月の合唱フェスティバルを皮切りに、発表・展示・舞台の各部門が特色ある事業を展開し、県民文化祭を盛り上げてきました。



山梨県文化賞 受賞者の声

平成 23 年度に山梨県芸術文化協会の会員で、「山梨県文化賞 文化功労者賞」「山梨県文化賞 奨励賞」を受賞された方々を喜びの声とともにご紹介いたします。

山梨県文化賞 文化功労者賞

山梨県文化功労者賞を受賞して

足達 勝子

このたび山梨県文化功労者賞を受賞いたしましたことは、この上ない喜び、思いがけない最高の贈り物であり、身に余る光栄と深く感謝申し上げます。この栄誉は、私を常日頃支え、励まし続けてくださいました多くの方々の絶大なご協力の賜であり、心よりお礼申し上げます。

昨年 3,11 東日本大震災の想像を絶する大災害の中で、合唱は他の様々な支援とともに各地で人々の心を癒し、生きる勇気と希望をもたらすことができたと伝えられています。私はこのことに感動し、改めて合唱の持つ大きな魅力と使命を実感いたしました。

この合唱の魅力を今後とも広く伝え続けられるよう、また微力ながらも、後輩の指導や地域文化の向上にお役に立てるよう精進してまいる所存でございます。どうか変わらぬご指導のほどお願い申し上げます。



山梨県文化賞 奨励賞

人生の節目にいただいた喜び

中野 宗夫

この度は、山梨県文化賞 奨励賞を賜り、身に余る光栄と感謝いたしております。推薦して下さった諸先輩、支えてくださった方々に心より感謝申し上げます。

見よう見まねで描き始め、こつこつと続けてきた活動も来年で 40 年になります。県内の企業（腕時計部品メーカー）に勤務しながらの創作活動には数々のドラマがあり、楽しいものでした。もうすぐ 60 歳になりますが、好き放題の活動ができたことは、ひとえに周囲の皆様の寛大なご協力があったからこそです。人生節目の時期に好きな活動で表彰していただけることに、大きな喜びと同時に身の引き締まる思いです。今後も新たな創造が生まれることを楽しみに研鑽を積んで参りたいと思います。



山梨県文化賞 奨励賞

奨励賞をいただいて

矢崎 美咲

昨年 11 月に皇太子殿下が恩賜林記念大会で甲府に来られました。折しも我々の弘風会かな書展を県民会館で開催していたのですぐにお出迎えができました。どこかオーラのある殿下のお姿に思わず頭が下がり、写真を撮るのを忘れてしまいました。その日は奨励賞の記事が山日新聞に掲載された日で、私にとって印象深い一日となりました。栄えある立派な賞なので、微力な私など申し訳ないかぎり、身の引き締まる思いです。県民文化祭書道展は作品のレベルが高く、なかなか入賞できません。その展覧会に携わることができ、光栄に思います。

父が生前、同じ賞をいただきました。父と同じ書の道を歩めて幸せです。平成 25 年、山梨で国文祭が開催されますが、山紫水明の山梨の文化が豊かに発信されるよう協力して行きたいと思います。



山梨県文化賞 奨励賞

山梨県文化賞奨励賞を受賞して

小林 勝次

この度、山梨県文化賞奨励賞を賜り、身に余る光栄と深く感謝申し上げます。昭和44年に一宮町文化協会設立と同時に写真部も参加し、写真部を通して文化協会の発展に尽くすとともに、一宮町、笛吹市の文化協会長、県文協理事、監事として、40年間地域の文化振興に携わって参りました。現在は山梨県芸文協理事、県民文化祭専門委員として、写団連合同展、県民文化祭写真展等に協力しております。

私は、世界遺産登録を目指す美しい富士山や棚田のような日本の原風景に魅せられ、少しでも良い写真を残したいと努力しています。今日までご指導ご支援くださった写団連や写真クラブの方々に心より御礼申し上げます。今後、この受賞を励みに山梨県の文化の発展と向上に微力ながら尽力していきたいと思っております。



山梨県文化賞 奨励賞

奨励賞を頂いて

深澤たみ子（花柳 吉宝）

私にとって、50年余りがあっという間の歳月でした。趣味として習い始めた日本舞踊ですが、このような素晴らしい賞をいただき、生涯のうちで一番嬉しいことです。振り返ると、昭和30年頃の私の稽古場にはいつも大勢の子どもたちが通ってきておりました。多くの子どもたちが稽古に励み、資格を取得して巣立っていきました。私にとって、指導のための勉強とともに自分を磨くための稽古や発表会への出演は必要不可欠です。これまで、いろいろな事情から思うようにいかないこともありました。人から学び、人に伝えるというのが伝統文化の流れだと思っております。これからも可能な限り研鑽に努め、文化継承のために努力していきたいと思っております。



山梨県文化賞 奨励賞

奨励賞を頂いて

星野 慶子（宗慶）

この度は身に余ります賞をいただきまして厚く御礼申し上げます。受賞の今日がありますことは、諸先生方の温かいご指導とご鞭撻の賜と深く感謝致しております。

県民文化祭諸展も山梨県茶道連合会の各流派が常に思考を重ね、協力し合い諸行事を遂行することで茶道の普及に努めて参りました。これからも更に力を合わせ、後進の指導や茶道文化の発展に尽力して参りたいと思っております。

平成25年には山梨県で国民文化祭が開催されます。茶道部門も各流派が結束し、微力ながら成功への一役に貢献致したいと思っております。今回の受賞を心の糧とし、今後も自己の研鑽に努め精進して参りたいと思っております。





インタビュー「山梨芸術劇場 M・C カンタービレ」

今年度も山梨芸術劇場は、県内各地でたくさんの県民の皆さんに舞台芸術の鑑賞機会を提供してきました。事務局には多くの感謝の言葉が寄せられ、大きな成果を取めています。今回の芸術劇場では、大月市立七保小学校において、マンドリン公演が実施されました。主催団体(学校等)と公演団体にインタビューしました。



(開催団体) 大月市立七保小学校 中山繁先生に聞きました。

——今回の芸術劇場に申請した経緯を教えてください。

生の芸術にふれる機会が乏しい子どもたちに“本物”を見せて、子どもたちの芸術性や情操を高め、感動を与えたかったので申請しました。

——PTA 活動の一環で、土曜日に親子で参観したそうですね。観客の反応はどうでしたか。

初めて聴く楽器の音色、そして触ってみた感触など、子どもたちの“初めて”の反応が印象的でした。校歌を編曲して演奏していただいた時は場内がとてもいい雰囲気になりました。プレゼントしてもらった校歌のCDは、今では給食の時間に流れています。



——事務局には、児童と保護者から、喜びと感謝の感想が届いていますが、先生方の反応はどうでしたか。

先生方も一人の観客として演奏会を楽しんでいました。優しい音色に聴き入っていました。

——「芸術劇場」について、ご意見・ご要望はありますか。

子どもたちにとって、貴重な機会となりました。学校に来ていただいて、親や友達と一緒に聴いて感動を共有するということがとても素晴らしいと思います。

(公演団体) M・C カンタービレ代表 遠山忍さんに聞きました。

——決定から公演までの期間、団体でどのように取り組みましたか。

電話で、学校からの要望を聞きました、子どもたちも知っている曲の演奏や楽器の紹介、楽器に触れる活動などについて頼まれました。練習計画をたて、週1回のペースで練習しました。事前に会場の下見に一度おじゃましました。

——公演に当たって、苦勞したことはありましたか。

公演当日の天気は雨でした。練習の時には、演奏が体育館の屋根に当たる雨音にかき消されてしまいました。私たちの団体にはPA設備がなく、公演は楽器の生音なので、本当に困りました。でも、本番には雨があがって本当に良かったです。

——公演中に心に残った場面はありますか。

子どもたちには、公演前に3つの約束をお願いしました。①演奏は静かに聴くこと②演奏が終わったら拍手をすること③曲にのって体を動かしても良いの3つです。子どもたちが約束を守ってくれたので、とてもやりやすかったです。

——児童には初めての経験だと思います。演奏会のマナーを教えるのは大切なことですね。



演奏が終わると、スタンディングオベーションをしてくれました。先生たちの指導があつたのかもしれませんが、気持ちよかったです。喜んでくれて本当に良かったです。

——「芸術劇場」について、ご意見・ご要望はありますか。

団員のほとんどが勤め人なので、平日の公演は困難です。土日の対応になってしまいますが、また呼んでいただきたいです。

今後も芸術文化協会の皆様のお力をお借りして、芸術劇場を実施していきたいと思っています。(事務局)



国民文化祭



テーマ「文化の風とあそぶ～みつめる・こえる・つなげる」

第28回国民文化祭・やまなし2013

平成25年1月12日(土)～11月10日(日)



もう 間もなくです！ ～1年前イベントが行われ、冬のステージの準備が進んでいます！～



山梨日日新聞 2012.1.12 一面広告

行いました。多彩なまちなかイベントやキャンペーンも盛んに行っています。**エフエム甲府**の定時放送での国文祭紹介など、マスコミでも大きく取り上げていただき、いよいよ国文祭の動きに目が離せなくなってきました。親しみやすい**イメージソング**『私の好きな街』もあちこちから流れてきています。

市町村主催事業

各市町村においては実行委員会が立ち上がり、芸術文化に関わる方々を始め大勢の協力を得る中で、**78**に及び事業の実施計画が整いました。また、トップを切る冬のステージの事業、**地歌舞伎の祭典**(南部町)、**民俗芸能の祭典**(甲州市)、**和太鼓の祭典**(富士川町)では出演団体の選考作業など、着々と準備が進んでいます。各市町村の魅力を全国に発信するチャンスでもありますので、地域を挙げて盛り上げていきましょう。

開幕1年前イベント

1月15日には、県芸術文化協会の
方々が制作する県民文化祭総合舞台

『**祈笛**』の上演に先がけて『**第28回国民文化祭・やまなし2013 開幕1年前記念式典**』が開かれました。さらに、1月14～15日には「**道祖神巡りフットパス**」、「**地域で見つめる郷土料理 in 北杜市**」、「**芸術文化探検・体験ランド**」が開催されるなど、国文祭を盛り上げるイベントが始まっています。

本格的なPR活動

甲府駅北口に**インフォメーションコーナー**が設置され、甲府駅の**甲府道祖神祭幕絵**展示は多くの皆さんの目に触れたことでしょう。ちょうど1年前にあたる1月12日には、山梨日日新聞に一面広告も掲載され、甲府駅ではチラシを配り、PR活動を

あなたの町の国文祭 ご存じですか？

富士の国やまなし国文祭公式ホームページが充実しています。是非、ご覧ください。

<http://yamanashi-kokubunsai.jp>

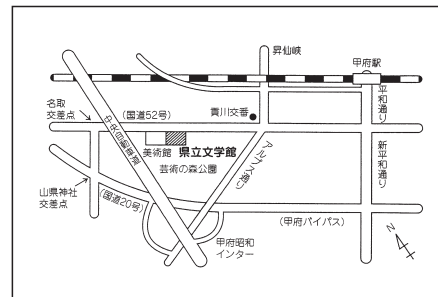
やまなし 国文祭 検索



総会・会員研修会のお知らせ

日 時 平成 24 年 4 月 26 日(木)
総 会 14:00 ~ 15:00
会員研修会 15:00 ~ 15:45

場 所 山梨県立文学館・研修室
 甲府市貢川 1-5-35 TEL 055-235-8080



総会概要

- ・平成 23 年度 事業報告及び決算について
- ・平成 24 年度 事業計画及び予算案について

会員研修会

国民文化祭課より、国民文化祭を間近に控え、より具体的になった計画の中身や各ステージを盛り上げるための仕掛けの紹介。その際に芸文協の会員の皆様にご協力いただくことについて、ご説明します。

いんぷおめーしょん

会員活動紹介

写 真 部 門

- 山梨県写真団体連絡協議会第 11 回合同展
 日 時：平成 24 年 6 月 24 日(日)~ 30 日(土)
 会期中 25 日休館日
 場 所：山梨県立美術館県民ギャラリー A
- 第 35 回写真展フォトクラブリターン
 日 時：平成 24 年 7 月 15 日(日)~ 21 日(土)
 会期中 17 日休館日
 場 所：山梨県立美術館県民ギャラリー B
- 山梨フォトクラブ第 29 回作品展
 日 時：平成 24 年 8 月 25 日(土)~ 31 日(金)
 会期中 27 日休館日
 場 所：山梨県立美術館県民ギャラリー B

邦 楽 部 門

- やまなし邦楽合奏団「響鳴」第 5 回定期演奏会
 日 時：平成 24 年 4 月 22 日(日) 14:00 開演
 場 所：双葉ふれあい文化館
 入場料：一般 1,000 円 子ども 500 円

美 術 部 門

- 峡北美術協会展
 日 時：平成 24 年 4 月 30 日(月祝)~ 5 月 5 日(日)
 場 所：山梨県立美術館県民ギャラリー A B
- 白濤会美術展
 日 時：平成 24 年 5 月 29 日(火)~ 6 月 2 日(土)
 場 所：山梨県立美術館県民ギャラリー A B
- 南アルプス美術協会展
 日 時：平成 24 年 6 月 3 日(日)~ 9 日(土)
 会期中 4 日休館日
 場 所：山梨県立美術館県民ギャラリー A
- 山梨美術協会創立 75 周年記念展
 日 時：平成 24 年 7 月 3 日(火)~ 15 日(日)
 会期中 9 日休館日
 場 所：山梨県立美術館県民ギャラリー A B C

華 道 部 門

- 第 28 回国民文化祭・やまなし 2013 前年祭華道展
 日 時：平成 24 年 4 月 13 日(金)~ 18 日(水)
 場 所：岡島百貨店 7 階 催事場

音 楽 部 門

- 山梨交響楽団第 39 回定期演奏会
 日 時：平成 24 年 6 月 9 日(土)
 18:00 開場 18:30 開演
 場 所：コラニー文化ホール・大ホール
 指 揮：クリスティアン・シュルツ
 (モーツァルト・コレギウム・ウィーン
 音楽監督、首席指揮者)
 曲 目：ヨハン・シュトラウス/喜歌劇「こうもり」
 序曲、マラー/交響曲第 5 番 嬰ハ短調
 入場料：一般 1,500 円 高校生以下 1,000 円

吟 剣 詩 舞 部 門

- 山梨県詩吟剣詩舞総連盟
 ■詩吟剣詩舞コンクール山梨県大会
 日 時：平成 24 年 3 月 24 日(土) 10:00 開会
 場 所：山梨県立文学館 講堂
- 山梨県吟剣詩舞道総連盟
 ■全国吟剣詩舞コンクール山梨県大会
 日 時：平成 24 年 4 月 22 日(日) 10:00 開会
 場 所：山梨県立文学館 講堂

民 謡 民 舞 部 門

- 第 17 回山梨県舞踊研究会 舞踊発表大会
 日 時：平成 24 年 4 月 22 日(日) 10:30 開演
 場 所：コラニー文化ホール・小ホール
- 第 3 回山梨県民謡民舞研究会 山梨の民謡発表会
 日 時：平成 24 年 5 月 27 日(日)
 10:00 開場 10:30 開演
 場 所：甲府市総合市民会館・芸術ホール